

2021 年度 第 6 回兵庫県審判トレセン 報告

| | |
|----------|------------------------------------|
| 日 時 | 2021 年 9 月 5 日 (日) 9:30~16:30 |
| 場 所 | 三木総合防災公園 第2陸上競技場 |
| 参加者 | 藤田 和昭、福井 成弥、トリム ジョサイヤ、北村 朋也、佐々木 拓也 |
| スタッフ | 井上 克己、浦元 雄一郎 |
| インストラクター | 三木 章嗣、梶山 勝弘 (報告) |
| 内 容 | 実技、講義 |

報 告

緊急事態宣言が発出されていたが、今回も新型コロナ感染予防対策を行い実施した。予定していた4名のカテⅡパス実技審査終了後の県審判トレセンとなった。参加者からカテⅡパス審査の報告などがあった。浦元トレセンマスターからカテⅡパスの結果に関係なく、選手は全力でプレーをするので審判員も全力で行うように注意があった。



<実技①> 兵庫県社会人リーグ1部 イルソーレ小野FC v s 常夏アミザージ
主審：トリム 副審1：藤田 副審2：北播磨割当



<実技②> 兵庫県社会人リーグ1部 猛獣王 vs 関学クラブ
主審：北村 副審1：福井 副審2：佐々木



<講義（振り返り）>

各チームとも兵庫県社会人リーグ後期の開幕試合で厳しい試合になることが予想され、審判員に第5回までのトレセン、カテⅡパスの経験を活かしたレフェリングを期待していたことを伝えた。改善されない各自の課題に対し、残されたトレセンの場を活用し、審判員自身で振り返りを行う必要性を伝えた。

<新型コロナ感染予防対策>

- ・参加者及びスタッフ全員が「健康チェックシート」の提出。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・試合時以外は、マスクの着用。また、手指、机の消毒。

以上

2021年度 第7回兵庫県審判トレセン 報告

| | |
|------|------------------------------------|
| 日 時 | 2021年10月10日（日）9:00～16:45 |
| 場 所 | みきぼうパークひょうご第3球技場、会議室 |
| 参加者 | 藤田 和昭、福井 成弥、トリム ジョサイヤ、北村 朋也、佐々木 拓也 |
| スタッフ | 浦元 雄一郎、中村 正光 |
| 内 容 | プラティカル、実技 |

報 告

緊急事態宣言が解除となったが、今までと同様に感染予防対策を行い開催した。今回は、実技（試合）の前にプラティカルトレーニングを行った。



<プラティカルトレーニング>

セッション①：動きとポジショニング セッション②：副審との協力





プラティカルトレーニングの経験が少ない審判員であったので普段の動きからプラティカルトレーニングの動きとなるなど戸惑いがあった。普段のレフェリングでは気づかないことが多く発見できたと思われる。

<実技①> 兵庫県社会人リーグ1部 エベユFC v s FC crescent
主審：福井 副審1：トリム 副審2：佐々木

<実技②> 兵庫県社会人リーグ2部 TAKATSUKA FCvs OBRIGADO
主審：北村 副審1：藤田 副審2：北播磨

<まとめ>

今年度のトレセンで初めてプラティカルトレーニングを取り入れた。審判員にとっては、試合では経験できないことが多くあり、良い刺激となったと感じた。今後もプラティカルトレーニングやフィジカルトレーニングを取り入れることを考えている。

実技では、動きとポジショニングが悪く正しい判定が出来ない、判定後のマネジメント不足が多く見受けられた。試合後の振り返りでは、試合中の事例を共有した。

カテⅡパスの再審査まで時間が無いが、最大限のパフォーマンスを出せるように普段から準備をしておくように審判員に伝えた。

<新型コロナ感染予防対策>

- ・参加者及びスタッフ全員が「健康チェックシート」の提出。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・試合時以外は、マスクの着用。また、手指、机の消毒。

以上

2021年度 第8回兵庫県審判トレセン 報告

| | |
|------|---------------------------|
| 日 時 | 2021年11月14日(日) 9:00~17:00 |
| 場 所 | 加古川陸上競技場、加古川陸上競技場内会議室 |
| 参加者 | トリム ジョサイヤ、北村 朋也 |
| 欠席者 | 藤田 和昭、福井 成弥、佐々木 拓也 |
| スタッフ | 梶山 勝弘 |
| 内 容 | 講義、試合観戦 |

報 告

今までと同様に感染予防対策を行い開催した。午前は、関西協会のインストラクターによるチュータリングの手法で5テーマの講義があった。午後は、都市リーグ決勝大会を観戦し、関西協会インストラクターによる担当審判員のフィードバックを見学した。

<講義①>

テーマ①：素早い攻撃の切り替わりで起こる事

テーマ②：ハンドの反則

テーマ③：審判員の協力

テーマ④：相手の大きなチャンスとなる攻撃を妨害、または阻止する

テーマ⑤：ハンドの反則（シュートブロック時の手または腕）





<講義②>

担当審判員へのフィードバック見学。

<まとめ>

今回は、実技なしで講義中止とした。日頃、経験したことがない、チュータリングの手法での講義となった。戸惑いもあったが審判員から活発な意見があった。また、試合観戦をして日頃は、評価される側であるが、今回は、評価する側となったことで新たな気付きもあったと思われる。今後の活動に今回の経験を生かしてくれることを期待している。

全トレセン審判員に映像を配布して担当審判員にインストラクターレポート（簡易型）の作成を実施した。

<新型コロナ感染予防対策>

- ・参加者及びスタッフ全員が「健康チェックシート」の提出。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・試合時以外は、マスクの着用。また、手指、机の消毒。

以上